

## 「社会 授業づくり講座」を通じた授業づくりの確認

先日の教科主任会では、社会の授業づくり講座を振り返り、当日参加した教科主任が「学んだこと」や「教科会メンバーに伝えたいこと」を共有しました。他教科の教科主任の考えであっても授業づくりの視点としてどれも大切な視点です。ぜひ、参考にしてください。



久米田先生による  
1年「地理的分野」の授業

資料の衣食住に着目し、その地域の暮らしを根拠をもとに説明させることを単元を通して行っており、本時は単元第2ユニット最後の授業。これまでの学習を生かし、見方・考え方を働かせて総合的に考えさせることをねらいとして授業が行われました。



教科主任と授業者での振り返り



論点をもとに協議する  
本校教科主任グループ

### 1回目の協議

論点：本時の目標を達成するために、生徒が「見方・考え方」を働かせて課題解決することができていたか、できていなかったか。また、それはなぜか。



課題の中から、社会科部会が協議してほしい内容を絞り込んで

### 2回目の協議

思考を深めていくための「資料の活用の工夫について」



次回講座の授業者である中前先生によるまとめ・次回に向けて



## 社会授業づくり講座「授業研究会」に参加して学んだこと・教科会に伝えたいこと

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p>国語</p> <p>社会</p> <p>数学</p> <p>理科</p> <p>英語</p> <p>音/美/技/家</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見方・考え方を働かせるための資料の提示の仕方を検討していく。</li> <li>・自分たちでどの情報が必要かを選んで使っていく力を育てていく。</li> <li>・「めあて」は、生徒が「何をして」「どのように理解していくか」見通しの持てるものにする。</li> <li>・資料を生徒が取捨選択できる力を付けていくために、学年に応じて、また、今後の授業の中でステップアップさせていく過程を検討する。</li> <li>・付けたい力をどのように付けていくか見通しを持って取り組んでいく。</li> <li>・単元ゴールをイメージしたときに、単元の流れが生徒の思考に沿っているのかを確認する。<br/>(各時間の評価規準を確認する … 単元づくり)</li> <li>・本時の評価規準(付けたい力)を明確にして授業づくりをする。<br/>(生徒の思考の流れを描き、「問題」「めあて」につなげる … 授業づくり)</li> <li>・生徒が自ら考える場面をどのように設定し位置づけるか。本時において重点となる学習活動を意識する。</li> <li>・生徒に根拠をもとに説明させたり考えさせたりする場面において、資料やデータの関連付けなどの能力を身に付けるための理科の重要性を共有する。</li> <li>・同じ題材であっても、その時間のねらいや評価規準が「知識・技能」か「思考・判断・表現」かによって授業の進め方や内容が違ってくる(提示する資料や何を考えさせるのかも含め)。教科会で各時間の付けたい力を確認していく。</li> <li>・生徒が「探ってみたい、解決したい」と思うゴールや課題を設定する。</li> <li>・教材(単元)の目的に応じた適切な資料を提示する。</li> <li>・思考を促すものを与えていく。</li> </ul> | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>社会は講座後、教科会で確認した内容です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 20px;"> <p>既に確認している教科会もあると思いますが、ぜひ、どの教科も夏季休業中の教科会で確認してください。</p> </div> |
|--|--|---|